

平成 28 年 2 月定例記者会見要旨

開催日時 平成 28 年 2 月 16 日（火） 午前 11 時 50 分 於：大会議室

（市長挨拶）

今月（2 月）は、当初予算を含めて 3 月補正予算の審議をいただく諏訪市議会を 2 月 22 日に招集します。

3 月は、上諏訪中学校体育館の竣工式があり、小中学校の卒業式があります。

3 月 5 日（土）には、第 15 回目の諏訪市地域医療セミナーがあります。緩和ケアの専門医阿部泰之先生をお招きし、「エンディングノートは一人で書きちゃだめ」というタイトルで、これからの高齢社会に不可欠なテーマで講演を予定しています。

記者との質疑応答

○御柱祭について

（記者）御柱年、地域活力の増進に絶好の機会だということで、諏訪市の底上げを図っていくということかと思えます。昨日の抽籤式では豊田・四賀が本一を引き当てました。諏訪市の場合、上社と下社に分かれ、市長も両方に参加することになります。6 市町村の首長の中でも唯一両方に参加する首長ですが、御柱に対する思いや気持ちをお聞かせください。

（市長）私は、上諏訪地区下社の奉賛会では名誉会長です。上社は、中洲・湖南地区、豊田・四賀地区の奉賛会長という立場です。諏訪大社は、全国に一万社を抱え、歴史的にも非常に価値のあるものです。深くこの地域に根付き、文化の面でも大切に保存すべき祭り（神事）です。諏訪市民あるいはこの圏域の住民が参加し、多くの観光客（200 万人の予想）が訪れると思えますが、そうしたみなさんの安全を確保しながら楽しんでいただき、思い出として深く残る良い祭りにするために、心して役割を果たしていきたいと思っています。

行政の長としての立場は、みなさんの安全や利便性の確保、環境の維持、そして観光としての位置づけを支えるという側面があります。みなさんの安全と、立派に神事が納められるように応援し、見守っていきたいと思っています。

（記者）昨日の抽籤式について、四賀・豊田が本一の柱で、中洲・湖南が本二の柱だったのですが、どう受け止めているかをお願いします。

（市長）神事のしきたりに則って抽籤式が行われた結果であり、氏子のみなさんの思いが結果として表れたと受け止めています。いただいた柱が一と二という大変重責のある柱ですので、みなさんと共に力を合わせて立派に神事をお納めできるよう、緊張感を持ちながら参加させていただき、そして楽しく盛り上がった良い祭りとして納

まるよう期待をしています。

(記者) 抽籤式について、抽籤で柱を選ぶことに関する市長の考えをお願いします。

(市長) 神事に関することですので、コメントは控えます。

○教育委員会からの提言について

(記者) 市教育委員会から提言書を受けたことについて、今後どのようにするのか、結論をいつごろ出したいなど期限があれば教えてください。

(市長) 提言書については、今後の方向性を示していただきました。具体的な事業の取り組みは、教育事業を進める中でみなさんと相談し、計画を作り取り組んでいきたいと思っています。今、具体的に期限などが出る段階ではありませんので、提言をいただいたことを尊重してまいりたいということです。

○精進湯に関する今後の動きについて

(記者) 高校生のアゲすわへの貸し出しは、平成 28 年度末で終わるということですか。

(市長) 精進湯は、温泉施設としての終了が平成 28 年度末ということをお願いしています。建物の一部を利用し、その次にどこへ行ったらいいかについては、アゲすわのみなさんも研究をしていますので、その動向を見守り、また意見交換をしながら考えていきます。

(記者) 精進湯は閉まるけれども、アゲすわは、まだ残る可能性はありますか。

(市長) 現状では、平成 29 年 3 月までは使用できますということをお願いしました。その先については決定していません。

(記者) 精進湯を利用しているみなさんへの対応は、具体的にどんなことがありますか。

(市長) みなさんの希望などを伺っていませんので、まだ何も決まっていません。懇談をしたいと思っています。